

平成 30 年度都留市学校教育の指針

由緒ある歴史と文化の伝統を有する都留市が、教育首都として人間愛、郷土愛、自然愛を基調とした、文化の香り高い、明るく活力ある未来を創造していくことを本市教育の使命とする。

現代の変化の激しい社会を生き抜いていく児童生徒には、知識や技能に加え、夢と希望に向かって自ら学び、自ら考え、行動できる資質や能力、豊かな人間性、心身の健康や体力の育成が必要である。

学校教育においては、地域・家庭との連携を密にして、生きる力の育成や自己の課題を認識し、その解決に積極的に取り組む態度や能力を備えた児童生徒を育成していかなくてはならない。これらを達成するために都留市学校教育の指針を次のとおり定める。

1 生きる力を育む教育課程の編成と実施

- 地域や学校の実態、児童・生徒の心身の発達の段階や特性等を考慮して、生き方を考え実現する能力を備えた調和のとれた人間の育成を目指す学校づくりに努める。
- 各教科等及び学年相互間の関連と調和を図り、学習指導要領の趣旨を踏まえ、各教科等の指導計画の改善と充実に努める。
- 学校が楽しい学びの場となるために、学校運営の改善を図るとともに、小中学校間のつながりを配慮した特色ある教育課程の編成とその実施に努める。

2 確かな学力を身につける学習指導の工夫

- 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り学習意欲の向上と学習習慣の確立に努める。
- 教育活動全体をとおして、思考力・判断力・表現力等を育むため言語活動を重視した指導に努める。
- 児童生徒の実態に即した家庭学習の一層の推進を図るとともに、児童生徒が単元やその授業の目標を理解し、解決の見通しを持って課題に取り組み、主体的に学習に取り組む意欲・態度を養う。

3 豊かな人間性を育む心（心づくり）の教育の推進

- すべての教育活動をとおして、自他を敬愛し粘り強く最後まで諦めない、しなやかな心の育成に努め、規範意識、感動する心など豊かな人間性を育む心の教育の充実に努める。
- 家庭・地域と連携して、基本的生活習慣の確立と道徳的心情・道徳的実践力の育成に努める。
- 愛情と信頼に基づいた、個に応じた生徒指導の充実に努める。

4 健康・安全・スポーツ教育の充実

- 教育活動全体をとおして、体力・健康・安全・食に関する理解を深め、日常生活に生かせる能力を育てる。
- 生涯を通じて体育・スポーツに親しみ、自ら体力の向上に積極的に取り組み、健やかで心身の調和のとれた児童・生徒の育成に努める。

5 信頼される学校づくりの推進

- 学校内外からの評価を基に、家庭・地域と一層の連携を深め、地域に開かれた魅力ある学校づくりに努める。
- 学校の安全計画及び防災・防犯等の危機管理マニュアルの改善・充実と、それに基づく安全管理体制を充実し、児童・生徒の安全の確保に努める。